

# 筑波大学菅平高原実験センター 利用報告書

平成28年 8月 5日

貴センターを利用して行った実習・セミナーが終了しましたので報告します。

実習名 (セミナー名)	キャンプ実習（登山プログラム）					
利用 期間	自 平成28年7月9日 ～ 至 平成28年7月16日					
	区 分	教 員	大学院生	学部学生	その他	備 考
利用者	人 数	4	1	278	4	その他4名は補助学生です
うち 受講者	人 数					
<p>1. 実習・セミナーの内容について、簡潔にお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 登山を通じて目的達成への歓びと感動・成功感を得ること。</li><li>● 登山を通じて事故と安全等に対する的確な行動力と判断力・適応力を身につける。</li><li>● 登山を通じて素晴らしい自然に触れ、自然と人とのかかわりの中で、生きている歓びを得ること。</li><li>● 登山を通じて日常からのストレスを解放とリフレッシュを図ること。</li></ul> <p>2. 成果をお書きください。（可能であれば写真なども該当シートに添付してください。）</p> <p>今回のキャンプ実習は『ふれあいキャンプ』をテーマに掲げ、『自然と人とふれあえる指導者になろう』という目的のもとに実施されました。登山プログラムでは、実習生に楽しさを体験してもらいながらも、事故と安全に対する的確な判断力・適応力を身につけるように指導にあたっておりました。利用者数が示していますように本学教員及び補助学生のみでは対応できる状況ではありませんでしたが、実験センターの教職員の方々にお力添えをいただき、無事にプログラムを実施することができましたし、また、学生が目的達成への歓びと感動・成功感を得るためにご尽力いただきました。</p> <p>3. 当センターをご利用いただいた感想、ご要望などご自由にお書きください。</p> <p>登山を通じて目的達成への歓びと感動・成功感を得ることや、事故と安全等に対する的確な行動力と判断力・適応力を身につけることにお力添えをいただくことができました。しかし、実験センターの方々の専門分野についてより多くを学ぶことができれば、さらに充実したキャンプ実習になると思います。より発展的なプログラムを計画する際には、是非ともお力添えをいただきたく思います。</p> <p>4. 当センターは、「教育共同利用拠点」としての実習等の利用状況・概要をホームページ等で公開しています。上記1、2、3で非公開を希望される内容がありましたらお知らせください</p>						

担当教員

波多腰 克晃

所 属

日本体育大学体育学部武道学科

職 名

准教授

当センターでは、ホームページ等で実習等の成果報告を行っています。  
ホームページ上での掲載可能な写真を、コメントと共に頂けませんか？  
皆さんの充実した実習等の報告をお待ちしております。

（以下のスペースに自由に写真をはりつけ、コメントをつけてください。）

（事故が起きないように実験センターの方々に指導を受け、また、自然観察をしながら下山をしている様子）



（頂上で目的達成の喜びと感動・成功感を得ることができた学生達の様子）

